

「マルチステークホルダー方針」

当社は、企業経営において、株主にとどまらず、従業員、取引先、顧客、債権者、地域社会をはじめとする多様なステークホルダーとの価値協創が重要となっていることを踏まえ、マルチステークホルダーとの適切な協働に取り組んでまいります。その上で、価値協創や生産性向上によって生み出された収益・成果について、マルチステークホルダーへの適切な分配を行うことが、賃金引上げのモメンタムの維持や経済の持続的発展につながるという観点から、従業員への還元や取引先への配慮が重要であることを踏まえ、以下の取り組みを進めてまいります。

記

1. 従業員への還元

当社は、『私たちは、食を通じて社会に貢献します。』というSRSグループのフィロソフィー(企業哲学)の下、経営資源の成長分野への重点的な投入、従業員の能力開発やスキル向上等を通じて、事業とヒトの持続的な成長と生産性向上に取り組み、付加価値の最大化により豊かな暮らしの実現と社会への貢献を目指します。また、継続的な企業価値とワークエンゲージメントの向上のために、生み出した収益・成果に基づいて、「賃金決定の大原則」にのっとり、自社の状況を踏まえた適切な方法による賃金の引上げを行うとともに、「多様性の推進」と「安心して働ける職場環境の整備」を重点課題とし、それ以外の総合的な処遇改善、一人ひとりの能力開発、キャリア形成に向けた教育訓練等を積極的に取り組むことで従業員への持続的な還元を目指します。

(個別項目)

具体的には、賃金の引上げについて、社会情勢や自社の経営状況を踏まえ、継続的な賃金改定を実施しているほか、「多様性の推進」と「安心して働ける職場環境の整備」の実現に向け労働環境の改善に取り組んでまいります。また、教育訓練等について、研修の体系化を推進し、off-JTについてはSRSグループ横断で集合研修を行うなど、人材への積極的な投資を行い、一人ひとりの能力開発や生産性向上に取り組んでまいります。

2. 取引先への配慮

当社はパートナーシップ構築宣言の内容遵守に、引き続き、取り組んでまいります。

なお、パートナーシップ構築宣言のポータルサイトへの掲載が取りやめとなった場合、マルチステークホルダー方針の公表を自主的に取り下げます。

- ・ パートナーシップ構築宣言の登録日

【2025年3月21日】

- ・ パートナーシップ構築宣言のURL

【<https://www.biz-partnership.jp/declaration/88537-14-00-osaka.pdf>】

また、消費税の免税事業者との取引関係についても、政府が公表する免税事業者及びその取引先のインボイス制度への対応に関する考え方等を参照し、適切な関係の構築に取り組んでまいります。

3. その他のステークホルダーに関する取組

当社は、「私たちは、食を通じて社会に貢献します。」というSRSグループのフィロソフィーに基づいた事業活動を通じて、ステークホルダーの皆さまと共に成長し、SDGsが目指す持続可能な社会の実現に向けて、社会課題の解決と価値の創造に取り組んでまいります。

これらの項目について、取り組み状況の確認を行いつつ、着実な取り組みを進めてまいります。

以上

令和7年3月21日

(令和7年4月8日 様式変更による更新)

株式会社フーズネット

法人の名称

代表取締役社長 加藤 誠

代表者の役職及び氏名